

令和 7 年度農地保全研究部会 現地見学会・研究集会実施要領

令和 7 年 12 月 3 日

【現地見学会】 研究室・研究施設見学：東京農業大学地域環境工学研究室

日時 12/4（木） 10:30～12:00

場所 東京農業大学世田谷キャンパス 地域環境工学研究室および学内実験室

スケジュール

10:30 東京農業大学世田谷キャンパス集合

<https://www.nodai.ac.jp/campus/map/setagaya/>

サイエンスポート 1 階警備本部前ロビー集合

○ 警備本部の向かい（ビール缶が並んでいる壁）の方に机などがあり
ますので早く到着された方はそちらでお待ちください。遅れる場合
などは携帯（090-2003-1558）またはメール（t3fujika@nodai.ac.jp）に
ご連絡ください。

10:30～11:30

キャンパス内見学 降雨実験装置・栽培温室など

天候によっては食と農の博物館なども見学できればと思います。

11:30～12:00

サイエンスポート内 地域環境工学研究室見学

【研究集会】若手研究者による研究発表会

日時 12/4（木） 13:30～17:00

場所 東京農業大学世田谷キャンパス サイエンスポート 7 階エアブリッジおよび
オンライン（zoom）

トピック：令和 7 年度農地保全研究部会研究集会

時刻：2025 年 12 月 4 日 01:00 PM 大阪、札幌、東京

<https://us06web.zoom.us/j/81988287479?pwd=1J9MYeQeLdHip1jowGp4sNvbuWD1Sj.1>

ミーティング ID: 81988287479

パスコード: 440280

参加費 無料

主催 農業農村工学会農地保全研究部会 (担当支部: 関東支部)

事務局 藤川智紀 (東京農業大学)

スケジュール

1. 開会挨拶・趣旨説明 13:30~13:35

東京農業大学 藤川智紀 (農地保全研究部会部会長)

2. 研究発表会 13:40~15:30 座長: 藤川

13:40~14:02 種田 悠杜 (東京農工大学大学院農学府)

太陽光パネルの影を考慮した土中水分や温度動態の数値解析

14:02~14:24 武田 希帆 (東京農工大学大学院農学府)

植物体の影の影響を考慮した HYDRUS-2D による土中水分・熱移動解析

14:24~14:46 江部 桃英 (東京農業大学大学院地域環境科学研究科)

東京都の農業における新規参入の現状と定着に向けて

15:10~16:20 話題提供および全体質疑応答

話題提供① 藤川 (石塚) 真記子 (東京都農林総合研究センター)

循環型自動底面給水システムを利用した花きポット苗栽培に適用可能な

土壤水分センサの検討

話題提供② 中野拓治 (琉球大学)

亜熱帯島嶼域における陸域から沿岸域への SS・窒素・リンの流出動態と影響

—鹿児島県与論島をフィールドとして—

3. 総括・閉会挨拶 16:20~16:30

琉球大学 中野拓治 (農地保全研究部会副部会長)

(4. 懇談会 16:30~17:00)

※ 発表時間 大学生発表 8分 質疑 5分

大学院生 発表 15分 質疑 7分

話題提供 発表 15~20分

○ 現地見学会について

東京農業大学地域環境工学研究室および実験室、学内の実験装置、食と農の博物館などを見学していただく予定です。参加を希望される場合には 11/28（金）までに、藤川（t3fujika@nodai.ac.jp）までメールでご連絡下さい（特に様式等はありません）。

○ 研究集会について

- ・発表時間は、大学学部学生は発表 7 分 質疑 3 分、大学院生は発表 15 分 質疑 7 分、一般 発表 20 分 質疑 10 分です。
- ・発表申し込みの締め切りは 11/24（月）17:00 です。
- ・「農地保全」に関する研究、技術の発表であれば、テーマは特に定めません。土壤侵食、農地防災、土壤汚染の他、特殊土壤、耕作放棄、都市農地保全なども含みます。もし判断の難しい場合には事務局にお問い合わせ下さい。
- ・発表者は原則として、学生、院生および若手研究者とします。発表は既発表（学会支部大会含む）のものでも構いません。学部生の発表については、指導教員が質疑応答の後に説明を加えることができるものとします（発表時間の最後の 1 分）。なお、応募人数が多い場合には発表時間を短くすることや、多すぎる場合はテーマによって発表者を選抜することができますので予めご了承下さい。
- ・発表者には発表前に講演要旨を作成していただきます。講演要旨は農業農村工学会全国大会の要旨の形式で 1 ページとします。講演要旨は発表会の前に学会ホームページを通じて参加者に配信すると共に農地保全研究部会誌「農地保全の研究」に掲載いたします。要旨の締め切りは 11/28（金）17:00 といたします。
- ・発表は原則としてパワーポイントまたは pdf によるスライドを用い、発表者が各自のパソコンから画面を共有して発表して下さい。
- ・参加者（聴講者）の取りまとめはしないので、参加をご希望される方は所定の zoom アドレスから隨時アクセスをして下さい。参加者は部会会員（農業農村工学会会員）でなくとも農地保全研究分野に関わる技術者及び研究者、院生、学生を対象とします。特に院生、学生（低学年含む）については若手技術者の育成の観点からも積極的に参加をしていただきたいと思いますので、周囲の皆様にも積極的にお声掛け下さい。